

【A方式】

高等学校1年生から3年生の1学期(または前期)までの全体の学習成績の状況を基にした得点と基礎学力調査の合計で判定します。

【B方式】

全体の学習成績の状況は点数化せず、基礎学力調査の点数のみで判定します。

【C方式】

高等学校1年生から3年生の1学期(または前期)までの全体の学習成績の状況を基にした得点と面接で総合判定します。

出願要件

次の①～④のいずれかに該当する者で出身学校長が推薦する者。ただし、国際教養学部(国際コミュニケーション学科/国際観光学科)の志望者で、日本国内での義務教育期間が9年間に満たない場合、加えて日本語能力試験「N2」以上(「英語インテンスブプログラム」志望の場合は「N1」)に合格している者。また、C方式で国際教養学部(国際コミュニケーション学科/国際観光学科)の「英語インテンスブプログラム」を志望する場合、「実用英語技能検定準2級」以上を取得している者。

- ① 2022年3月以降に高等学校または中等教育学校を卒業した者および2023年3月までに卒業見込みの者。
- ② 学校教育法施行規則第150条第1号～第4号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2023年3月31日までにこれに該当する見込みで、2023年4月1日時点の年齢が19歳までの者。
- ③ 高等学校卒業程度認定試験合格者で、2023年4月1日時点の年齢が19歳までの者。
- ④ その他相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認めた者で、2023年4月1日時点の年齢が19歳までの者。

出願期間

選抜種別	出願期間(締切日消印有効)	窓口受付日※	
I期	2022年11月1日(火)～11月11日(金)	2022年11月14日(月)	9:00～15:00(守口キャンパス)
II期	2022年12月1日(木)～12月9日(金)	2022年12月12日(月)	

※窓口受付は出願書類の受付のみです。受付当日までにインターネット出願登録を完了しておいてください。

出願書類

- ① 志願票
印刷したインターネット入学志願票(アップロードした顔写真が印刷されたもの)。
- ② 調査書(文部科学省指定様式)
出身学校長が作成し、厳封したもの。(I期で2日間連続受験の場合は1通で可。)
※高等学校卒業程度認定試験合格者(見込みを含む)は調査書に代えて「合格成績証明書」が必要です。
なお、高等学校等で取得した科目(免除科目)がある場合は、その成績証明書も提出してください。
- ③ インテンスブ志望理由書(本学所定用紙:ダウンロード)受験方法はP25参照
国際教養学部(国際コミュニケーション学科/国際観光学科)の「英語インテンスブプログラム」・「中国語インテンスブプログラム」が第1志望の者は提出してください。
なお、C方式で「英語インテンスブプログラム」を志望する場合は実用英語技能検定準2級以上の有資格者が対象です。対象者はあわせて「資格証明書(原本)」を提出してください。(原本は選抜日当日に返却します。)
- ④ 日本語能力試験成績証明書
国際教養学部(国際コミュニケーション学科/国際観光学科)の志望者で、日本国内での義務教育期間が9年間に満たない場合、日本語能力試験「N2(またはN1)成績証明書(原本)」を提出してください。(原本は選抜日当日に返却します。)
- ⑤ 各種英語関連証明書
英語科目における「英語外部試験利用選抜制度」(詳細はP25参照)を利用する者は、実用英語技能検定やTOEICの証明書・認定証(いずれも原本)を提出してください。(原本は選抜日当日に返却します。)
上記以外の資格やスコアについては、出願期間開始日の2週間前までに入試・広報部までお問い合わせください。
- ⑥ 入学検定料免除届(本学所定用紙:ダウンロード)詳細はP31参照
入学検定料免除の対象となる者は、必要な証明書類を添えて提出してください。

注1)推薦書は不要です。

注2)専願で2日間連続受験する場合の志望は、同一学科・コースに限ります。

注3)A方式・B方式を併願で受験する場合、最大4つの学科・コースを選択(志望順位選択)することができます。ただし、短期大学部が第1志望の場合は第2志望以下に大学の学科を選択できません。また、志望順位の組み合わせが決まっている学科がありますので、詳細はP31「出願上の注意事項」を確認してください。

注4)志望順位を選択し、複数学科(コース)に合格した場合は、最上位の志望学科(コース)にのみ合格通知書を郵送します。

注5)国際コミュニケーション学科/国際観光学科の「インテンスブプログラム(英語・中国語)」の選択は第1志望に限ります。

注6)窓口受付日を除き、出願書類の提出は郵送に限ります。インターネット出願登録で印刷した宛名を用いて、簡易書留速達郵便で郵送してください。

入学検定料

30,000円

割引特典

Ⅰ期において、2日間連続で受験した場合、2日目の入学検定料を10,000円に割引きます。
(「A方式」、「B方式」、「C方式」を組み合わせる場合も割引対象です。)

2日間連続受験の入学検定料: 1日目入学検定料30,000円+ 2日目入学検定料10,000円=40,000円

受験科目・試験時間・解答方式

大学【A方式・B方式 共通】

受験科目:基礎学力調査【国語・英語・数学の総合問題(国語は古文・漢文を除く、英語はリスニングを除く)】

試験時間:10:00~11:30(90分)

解答方式:「国語」・「英語」はマークセンス方式、「**数学**」は記述式

短期大学部【A方式・B方式 共通】

受験科目:基礎学力調査【「国語」(古文・漢文を除く)または「英語」(リスニングを除く)のいずれか1科目選択】

試験時間:10:00~10:30(30分)

解答方式:マークセンス方式

注1) Ⅰ期においては、1日目と2日目の受験科目を変えることも可。

注2) 出願後の科目変更は不可。

選抜方法・配点

◆【A方式】

大学:Ⅰ期・Ⅱ期

① 基礎学力調査【国語・英語・数学の総合問題】150点満点(各科目50点満点)

② 調査書:50点満点(全体の学習成績の状況×10倍)

上記①・②および出願書類を参考に総合判定し、合否を決定します。

短期大学部:Ⅰ期・Ⅱ期

① 基礎学力調査【「国語」または「英語」のいずれか1科目選択】50点満点

② 調査書:50点満点(全体の学習成績の状況×10倍)

上記①・②および出願書類を参考に総合判定し、合否を決定します。

◆【B方式】

大学:Ⅰ期・Ⅱ期

基礎学力調査【国語・英語・数学の総合問題】150点満点(各科目50点満点)

上記、基礎学力調査および出願書類を参考に総合判定し、合否を決定します。

短期大学部:Ⅰ期・Ⅱ期

基礎学力調査【「国語」または「英語」のいずれか1科目選択】50点満点

上記、基礎学力調査および出願書類を参考に総合判定し、合否を決定します。

◆【C方式】

大学・短期大学部:Ⅰ期・Ⅱ期

① 調査書:50点満点(全体の学習成績の状況×10倍)

② 面接:50点満点

上記①・②および出願書類を参考に総合判定し、合否を決定します。

※国際コミュニケーション学科/国際観光学科「英語インテンシブプログラム」を志望する者は、「日本語と英語による面接」を実施します。

選抜日・選抜会場

方式	選抜種別	選抜日	選抜会場
A方式 B方式	Ⅰ期	2022年11月19日(土)・11月20日(日)	本学(守口キャンパス)、岡山(サン・ピーチOKAYAMA)
C方式		2022年11月19日(土)	本学(守口キャンパス)
A方式 B方式 C方式	Ⅱ期	2022年12月18日(日)	本学(守口キャンパス)

注1) Ⅰ期のA方式・B方式は選抜日自由選択(出願時に選択)。

注2) Ⅰ期で2日間連続して受験する場合:「専願」は2日間とも同一学科・コースのみ選択可、「併願」は同一または別の学科・コースの選択も可。

注3) 地方会場は都合により変更することがあります。

合格通知発送日・入学手続期間

選抜種別	合格通知発送日	Web合否発表日	入学手続期間(締切日厳守)
Ⅰ期	2022年12月1日(木)	2022年12月2日(金)	2022年12月1日(木)～12月9日(金)
Ⅱ期	2022年12月23日(金)	2022年12月24日(土)	2022年12月23日(金)～2023年1月6日(金)

学校推薦型選抜(公募)Ⅰ期・Ⅱ期A方式・B方式の国際コミュニケーション学科/国際観光学科「インテンシブプログラム(英語・中国語)」受験方法

1 「インテンシブプログラム(英語・中国語)」

インターネット出願時に「英語インテンシブプログラム」または「中国語インテンシブプログラム」を選択し、本学所定用紙(ダウンロード)の「インテンシブ志望理由書」を必ず提出してください。

ただし、「英語インテンシブプログラム」志望者で、日本国内での義務教育期間が9年間に満たない場合は、日本語能力試験「N1」に合格している者に限ります。対象者は上記に加え、「N1成績証明書(原本)」の提出が必要です。(原本は選抜日当日に返却します。)

※「中国語インテンシブプログラム」では、入学後半年間の準備期間を経て、本学が定める基準を満たした者のみ本プログラムの継続受講が許可されます。

2 国際コミュニケーション学科/国際観光学科「インテンシブプログラム(英語・中国語)」の合否

①「英語インテンシブプログラム」の合否判定は、基礎学力調査の「英語」および出願書類を参考に総合判定します。

②「中国語インテンシブプログラム」の合否判定は、基礎学力調査および出願書類を参考に総合判定します。

③「インテンシブプログラム(英語・中国語)」の合否判定は、国際教養学部各学科における合否判定とは別に行うため、「インテンシブプログラム(英語・中国語)」の判定が不合格であっても、志望する各学科の一般生として合格することもあります。

学校推薦型選抜(公募)Ⅰ期・Ⅱ期C方式の国際コミュニケーション学科/国際観光学科「インテンシブプログラム(英語・中国語)」受験方法

1 「英語インテンシブプログラム」

出願は実用英語技能検定準2級以上の取得者またはそれと同等の能力があると本学が認めた者が対象です。対象者はインターネット出願時に「英語インテンシブプログラム」を選択し、本学所定用紙(ダウンロード)の「インテンシブ志望理由書」と「資格証明書(原本)」を必ず提出してください。(原本は選抜日当日に返却します。)

なお、「日本語と英語による面接」を実施します。

ただし、「英語インテンシブプログラム」志望者で、日本国内での義務教育期間が9年間に満たない場合は、日本語能力試験「N1」に合格している者に限ります。対象者は上記に加え、「N1成績証明書(原本)」の提出が必要です。(原本は選抜日当日に返却します。)

2 「中国語インテンシブプログラム」

出願志望者はインターネット出願時に「中国語インテンシブプログラム」を選択し、本学所定用紙(ダウンロード)の「インテンシブ志望理由書」を必ず提出してください。

※「中国語インテンシブプログラム」では、入学後半年間の準備期間を経て、本学が定める基準を満たした者のみ本プログラムの継続受講が許可されます。

3 国際コミュニケーション学科/国際観光学科「インテンシブプログラム(英語・中国語)」の合否

「インテンシブプログラム(英語・中国語)」の合否判定は、国際教養学部各学科における合否判定とは別に行うため、「インテンシブプログラム(英語・中国語)」の判定が不合格であっても、志望する各学科の一般生として合格することもあります。

英語外部試験利用選抜制度(大学・短期大学部:全学部・学科・コース共通)

適用対象 学校推薦型選抜(公募)Ⅰ期・Ⅱ期(A方式・B方式)における「英語」科目受験者

実用英語技能検定またはTOEICの資格・点数取得者は、出願時に「合格証明書(原本)」(日本英語検定協会発行)または「公式認定証(原本)」(国際ビジネスコミュニケーション協会発行)を提出することにより、下記①～③の得点とみなし、選抜日当日の英語得点と比較して高い方の得点で合否判定します。下表以外の資格やスコアについては、出願期間開始日の2週間前までに入試・広報部までお問い合わせください。

英語外部試験	選抜種別	学校推薦型選抜(公募)Ⅰ期・Ⅱ期(A方式・B方式)
① 実用英語技能検定準2級またはTOEIC 450点以上の取得者		英語得点を30点とみなす
② 実用英語技能検定2級またはTOEIC 550点以上の取得者		英語得点を40点とみなす
③ 実用英語技能検定準1級またはTOEIC 730点以上の取得者		英語得点を50点とみなす